

# そして うたおう

NO. 231 2025年1月6日発行

<練習予定>

1月..... 6日 13日(中原先生) 20日 27日(櫻井先生)

※13日の練習場所は勤労会館です。

2月..... 3日 10日 17日 24日(今井先生)

※17日の練習場所は中央公民館です。

3月..... 2日(日): 崇善公民館まつり 7日(金): 事前練習

8日(日): 第52回ひらつか市民合唱祭

3日 17日 24日 31日(櫻井先生)

※17日の練習場所は中央公民館です。

<練習曲> 『今日もひとつ』 星野富弘 作詩 なかにしあかね 作曲  
『島よ』 伊藤海彦 作詞 大中恩 作曲  
『コダーイ混声合唱曲集より』 ゴルタン・コダーイ 作曲  
『思い出の曲』 2001~2024

<練習日・時間> 月曜日 18時30分~21時00分

★18時15分~20時45分(櫻井先生)

<練習場所> 崇善公民館 中央公民館

<練習欠席等の連絡> 男性: 鈴木 090・8452・5037

女性: 梅林 090・4822・7882

HP



## 世界が平和になりますように

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

皆様、年末年始はどのように過ごされたでしょうか。また、どのような抱負を持たれたのでしょうか。

昨年は元旦に能登半島で大きな地震があり、多大な被害が出ました。今も復興半ばで、人口流出による地域経済の衰退も懸念されています。日本は地震によるリスクを抱え、私たちが住む場所もいつ巨大地震が起きてもおかしくない状況です。世界に目を向けると、ウクライナやガザでの戦争に終結が見えず、被害が増え続けています。飢餓や貧困による悲劇も耳にします。何とか世界が平和で安全で健康に暮らせる場所になるように願うばかりです。

とは言っても、日々の生活で喜びや幸せを求めてこの1年を過ごしたいです

ね。その一つが皆と一緒に歌が歌えるということです。生きている証として歌が歌える。今年も楽しく合唱をしていきましょう！！  
鈴木

## 『出発の歌 -失なわれた時を求めて-』

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より抜粋

1971年12月1日にリリースされた上條恒彦の3枚目のシングルである。1971年にヤマハ音楽振興会主催「第二回世界歌謡祭」選考の「第三回合歓(ねむ)ポピュラーフェスティバル(司会は永六輔)」が三重の合歓の郷・ヤマハのリゾートで行われた。小室等率いる六文銭と上條恒彦は別々にエントリーしていたが、キングレコード・ディレクターの三浦光紀が、小室等にそれぞれ1曲ずつ作曲を頼んでいたものの、当日までに1曲しか仕上げられなかったことから、急遽一緒に組んで上條恒彦+六文銭として参加することになった。

「出発の歌」の作詞は、元々はかぜ耕士が書く予定だったが、「体調が悪くて書けない、降ろしてくれ」と連絡が来たことから、及川恒平が「出発の歌 -失なわれた時を求めて-」というタイトルで詩を書き、会場に向かう新幹線の中で、手直しして完成させた。なお、詩の構想は上條恒彦が1年前からあためていたもの。

フォーク+ロック・リズムに仕立てた小室等の曲は前日にやっとでき、編曲の木田高介を同行、これも新幹線の中でアレンジさせ、六文銭が写譜し、会場へ来てはじめて音を出した。

赤い鳥、トワ・エ・モワ、弘田三枝子、中尾ミエ、沢田研二、伊東ゆかり、ピンキーとキラーズ、ブルー・コメッツといった出演者に交じると場違いに見え、とてもグランプリになんか取れそうもないと、みな諦めていたが、結果グランプリを取った。

～シリーズ 思い出に残る合唱～

### 中学で歌った「流浪の民」

鈴木隆夫

中学で歌ったシューマン作曲の「流浪の民」です。市の音楽会で歌うために練習しました。難しい曲でしたが変化がありとても印象に残りました。ソロに選ばれて歌った子がかっこよかった。自分も歌いたかったとの思い出があります。歌詞の内容もよく分からないながら夢中になって歌っていたような気がします。音楽の先生がとても熱心に指導してくださったので思い出深いです。

※シリーズ第2弾です。原稿依頼しますのでぜひご協力ください。

#### 演奏会のご案内 ※順次掲載していきます。

☆Happiness Key Concert 1月26日(日) 13時30分開演

茅ヶ崎市文化会館 大ホール

☆川崎混声合唱団 第57回定期演奏会 1月26日(日) 14時開演 ※今井先生

川崎市多摩市民会館 大ホール

☆LAB concert 2月15日(土) 13時30分開演

※中村先生

横浜みなとみらいホール 小ホール